

2015 年 9 月 17 日

サイドエン트리タイプ高速取出口ロボット

「SXC-HSY」シリーズを発売

● ユーシン精機 ●

射出成形機用取出口ロボット専門メーカーの(株)ユーシン精機(社長／小谷眞由美、本社／京都市、資本金／19 億 8,566 万円)はこのほど、最新の最適設計を用いて高速性を向上させたサイドエン트리タイプ取出口ロボット「SXC シリーズ」のさらなる高性能化を実現した「SXC-HSY」シリーズ 2 機種を開発、9 月 16 日から発売を開始する。

今回の「SXC-HSY」シリーズは、従来機種「SXA」シリーズの後継機である現行発売機種「SXC」「SXC-HS(高速仕様)」シリーズに新たにラインナップしたもので、対象成形機型締力 5～15tf(トン)に対応の「SXC-10II-HSY」、同 15～40tf 対応の「SXC-40II-HSY」2 機種。これまでの HS(高速)仕様に加え、さらなる高性能化を実現した HSY(超高速)仕様をラインナップすることで、お客様のハイサイクル化への要望に応えた。

新製品の特長

モータ容量 UP、剛性 UP により高速化を実現。また振動減衰性能も大幅に向上させサイクルタイム全体の短縮にも貢献。

1. 高速

モータ容量 UP と剛性 UP により、従来機種「SXA」シリーズと比較して 63%、現行機種「SXC-HS(高速仕様)」と比較して 9%の高速化を実現。

2. 制振技術

最適設計+制振制御により、現行機種「SXC-HS(高速仕様)」と比較して振動振幅を68%削減。これにより振動待ちタイマを削減し、実成形のサイクルタイムを短縮すると共に、高速動作時の取出、搬送、開放の各動作がスムーズになり、微細成形品の安定取出を実現。

価格は本体定価(消費税別)で、「SXC-10II-HSY」が 290 万円、「SXC-40II-HSY」が 310 万円。
販売目標は、年間約 100 台を見込んでいる。

◆ この件に関するお問い合わせ

広報担当：営業管理部 稲野, 境

TEL：075-925-0400

本社：京都市伏見区久我本町 11－260

【補足】

※ 「最適設計」

ロボットの機構やその動きを考慮して CAE(コンピュータ支援技術)により理論的な最適形状を求める手法を最適設計と言い、近年、航空機や自動車部品などを軽量かつ信頼性の高い構造にするために使われ始めた世界最新の設計手法。